



光明の学び

6月は学習をたくさん積み上げる事ができました。

授業参観をされた方から届いたメッセージ (抜粋を要約)

◆先生方の丁寧な対応の中で、子供への実際のかかわり方が観られました。クラスメイトの反応からも普通の学校の様子が分かって安心でした。日程調整大変だったことでしょうか、父母2人で参観できて良かったです。ありがとうございました。◆個人でじっくり1対1の場面、大人数での皆の関わり、どちらも良く観ることができました。先生方の工夫や子供たちのペースを急かす事なくやっつけてくださっていることに信頼を深めました。

アートギャラリーに寄せられたメッセージ (抜粋を要約)

◆一人一人の作品を丁寧に展示してくださっていて、スロープの展示がステキで美術館の様！感動しました。◆他学年の作品も観られて良かったです！◆部門・学年も様々な作品を観て、子供たちの可能性を感じとれました。先生方の作品の魅せ方に感激です。作品を一層輝かせてくださり保護者として嬉しいです。

⇒頂いた叱咤激励をエネルギーに授業を一層充実させていきます！

〈予告〉期末S部門全校保護者会は7/12・13の2日間分散へ

これまでの全校保護者会は、S部門は3学年毎に分けて4日間に分散して行ってきましたが、直近の感染拡大収束状況をふまえ、S部門を6学年毎(S小とS中・高)に分けて2日間で行います。広くなった新体育館は、対策本部が示した2m間隔でいす並べると100名超が着席可能な環境です。今回は十分余裕をもたせ、各回想定40名程度ですので、御安心ください。全体会終了後は、体育館、音楽室、光ホール、西棟体育室等に学年ごとに分散して、学年保護者会を行います。学期末ですので、保護者同士がフェイス to フェイスで十分に情報交換できますように来場型を基本としますが、御来校できない方を対象に、オンライン参加できるように機材・回線等を用意します。通信状況によっては、一時的に繋がり辛くなる場合がありますが、御容赦ください。

(別途、保護者会開催のお知らせを配布しています。)

都障害者スポーツ大会5/28の活躍を報告します！

前号では「第23回東京都障害者スポーツ大会」に学園生が多数参加する旨を予告しましたが、結果が届きました。金銀銅メダリストを紹介いたします。

都大会への本校出場者のメダリスト (3位以上) 一覧

ソフトボール投げ	S高2	生徒	1m53cm	第1位
ビーソフボール投げ	S高1	生徒	4m56cm	第1位
100m走	S高1	生徒	25秒97	第3位
100m走	S高1	生徒	11秒6	第1位
ソフトボール投げ	S高1	生徒	4m64cm	第1位

本学園卒業生も11名出場され、7名がメダルを得ました。特に本年3月に卒業された卒業生1名が50m走で好成績を収め、全国大会に臨む東京都選手団に選出される見込みとの嬉しい情報も届いています。

高3対象に主権者教育に関する学習を実施！

平成28年からは選挙権が18歳以上に引き下げられ、さらに今年4月1日から成年年齢が引き下げられたことで、一層の法令遵守の責任が求められます。満18歳を迎える本校高等部第3学年生も18歳の誕生日以降、選挙人名簿登録後は選挙権を行使できます。7月には参議院議員選挙が予定されている事から、高等部3年生は、部門別に「参政権としての選挙投票の仕組み」や「選挙に関して加害者・被害者ならないための注意点」等を学びました。S部門の授業では、「成人となり、被選挙権を得ている本校の特別学園生二人が立候補した。」との想定で模擬選挙を体験しました。「当選の暁には、新刊書をたくさん入れて有権者の本を読みたいという気持ちに応えます。」を公約に掲げた候補者と「当選の暁には、学校中を花一杯にします。」との公約を掲げた候補者から、それぞれの公約の説明・質疑を受けた上で、自分の望む社会や生活との関連から考えて投票してみました。結果は9対1で「新刊書導入を掲げた候補者」が当選しました。

こうした模擬選挙体験で投票等の選挙の仕組みと意義を学ぶとともに、選挙に関するルールも学びました。(4ページに詳細を掲載)

また、本校では、生徒会選挙を毎年行うことで、立候補・政策(主張の立案・演説・広報)・投票・開票を体験する中で、選挙全般の理解を深める教育活動を大切にしています。今後も「選挙」について、有権者としての責任を自覚して権利行使できるように指導していきます。

学習指導要領と肢体不自由・病弱特別支援学校

全国どこでも国民として同じ内容の教育が受けられるように、小・中・高校と同様に「特別支援学校学習指導要領」が公教育として国により定められています。この学習指導要領は、学部別・障害種別に構成されています。肢体不自由や病弱のみの有するお子さんを対象にした小・中・高校の教育に相当する教育(準ずる教育課程)を行う際の教科別の内容と、知的障害を伴うお子さんを対象とした教育(知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程)を行う際の教科別の内容、さらに重度・重複障害を有するお子さんを対象とした自立活動を学習の中心に据えた教育(自立活動を主とする教育課程)に分かれています。

知的障害を伴うお子さんを対象とした教育では、例えば算数では「色や形、大きさに着目して分類すること。」等と学習指導要領に示されています。基礎段階の国語・算数学習のファーストステップ「1・2・3段階」の例を以下に紹介します。

基礎段階の国語の内容「聞くこと話すこと」1～3段階

第1段階では例えば、「身近な人からの話し掛けに注目したり 応じて答えたりすること」、これが第2段階になると「簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること」、第3段階では「経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること」と、とステップアップしています。

基礎段階の算数・数学の内容「図形」1～3段階

第1段階の例「具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったり、形を観点に区別すること」、これが第2段階では「色や形、大きさに着目して分類すること。身近なものを目的、用途及

び機能に着目して分類すること」、これが第3段階では「ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。具体物を用いて形を作ったり分解したりすること」と発展していきます。つまりスモールステップによる学習内容の進行なのです。

ちょっと考えると分かるステップが指導のポイント

振り返ると、校内でよく見かける○と△(マル・サンカク)の型はめ板を用いた学習は、「身近にある物の名前を聞いて取ったり、形で分けたりする学習」であり、小の算数・中高の数学に連なる、大切な道筋の中に位置付く学習ステップです。「赤いビー玉を頂戴!」や「どっちの箱に入ってるかな?」も一見、遊んでいるように見えますが、選択・記憶を含む算数の学習の一步として欠かせません。

集団にあっても一人一人の理解度や手・目の動きが異なる個々の子供の発達の実態に合わせて、ちょっと考えると分かるステップを用意できることが、この教育に関わる教員の専門性として、欠かすことができない力です。

「ひらがな」と「カタカナ」の成り立ち

本校では「国語」「算数・数学」の学習指導を特に大切にしています。どのように障害が重くとも、言葉や文字獲得に向けて日々の学習で一步一步積み上げていくことが学校の使命と自覚し、全校挙げて取り組んでいます。前項では基礎段階の「国語」「算数・数学」の学習として、言語や文字獲得につながる「物を見る」「物に注視する」「見比べる」「選ぶ」「取る」等の学習が大切なステップであることを御説明しました。(この系統の指導には高い専門性が不可欠です。しかし大学の教員養成課程や採用時の初任者研修ではこうした関係の具体的な技術指導は実は皆無なのです。そこで本学園では専門家を招き、全教職員を対象に指導実技研修を定期開催し技術修得に努めています。また、家庭教育の支えも不可欠ですので、毎年度、関連したテーマで保護者学習会をPTAと共催しています。)今号では、ひらがな獲得後の段階であるカタカナ習得に関して「カタカナ習得の難しさから考える学習上の留意点」について取り上げます。

ひらがな・カタカナの成り立ち

私たちは日頃、漢字かな混じり文を用います。遙か以前には、助詞も内容も全て漢字で表す「全文漢字の時

代」がありました。そこに頻繁に出てくる助詞や活用語尾等、字を書き易いように漢字全体の形を思い切って崩したものが「ひらがな」と言われています。例えば「安」→「あ」全体の輪郭を残しながら曲線を多用し、6画から3画へと書き易く変化させています。

(他は下表を参照)

元となる漢字 ⇒ ひらがな50音

安 → あ	以 → い	宇 → う	衣 → え	於 → お
加 → か	幾 → き	久 → く	計 → け	己 → こ
左 → さ	之 → し	寸 → す	世 → せ	曾 → そ
太 → た	知 → ち	州 → つ	天 → て	止 → と
奈 → な	仁 → に	奴 → ぬ	衿 → ね	乃 → の
波 → は	比 → ひ	不 → ふ	部 → へ	保 → ほ
末 → ま	美 → み	武 → む	女 → め	毛 → も
也 → や		由 → ゆ		与 → よ
良 → ら	利 → り	留 → る	礼 → れ	呂 → ろ
和 → わ	為 → ゐ		恵 → ゑ	遠 → を
		无 → ん		

元となる漢字 ⇒ カタカナ50音

阿 → ア	伊 → イ	宇 → ウ	江 → エ	於 → オ
加 → カ	機 → キ	久 → ク	介 → ケ	己 → コ
散 → サ	之 → シ	須 → ス	世 → セ	曾 → ソ
多 → タ	干 → チ	川 → ツ	天 → テ	止 → ト
奈 → ナ	仁 → ニ	奴 → ヌ	衿 → ネ	乃 → ノ
八 → ハ	比 → ヒ	不 → フ	部 → ヘ	保 → ホ
末 → マ	三 → ミ	牟 → ム	女 → メ	毛 → モ
也 → ヤ		由 → ユ		与 → ヨ
良 → ラ	利 → リ	流 → ル	礼 → レ	呂 → ロ
和 → ワ	井 → ン		恵 → エ	平 → ヲ
		尔 → ン		

備考 ①ひらがなとカタカナで元の漢字が異なる場合に口を付した。

②上表は wikipedia の「平仮名の一覧」「片仮名の一覧」を引用加工した。

※フリー文書利用許諾書により複製・改変は許可されている。

一方、漢字の一部だけを取り出したものがカタカナで

す。漢文訓読(例：漢文を日本人が読む際のレ点)の際に用いられ始めました。カタカナは行間の小さなスペースに小さな字で書けるように、漢字の片側だけを表記したものだと言われています。

学習時に混乱しやすいのはなぜ？

実は、ひらがなとカタカナの間では、形の難易度や書きやすさに一貫した共通性が無いからです。例えば「加」→「か」は漢字全体の字形を生かしています。そして「力」は、その漢字の一部(偏)を活かして分かり易いのですが、この原則ばかりではないのです。「知」→「ち」と「千」→「チ」、「波」→「は」と「八」→「ハ」のように、元となる漢字が全く異なることから、ひらがなとカタカナの形に共通性が無いものもあります。

一方、文字形がそっくりの場合もあります。(へ・へ)(り・り)ですから、ひらがなが定着していない段階でカタカナの学習を始めると、「音」から結びつくひらがなとカタカナの2種の文字が脳内に想起されてどちらでもよいと判断してしまったり、似たような形だからとカタカナを混ぜてしまったりします。こうした時は指導の鉄則「急がば回れ」です。基礎をしっかりと固めることが実は早道です。まず「ひらがな」(読・書・話・聞)の獲得と定着が最重要です。ひらがなだけでも十分に単語や文は作れますし、手紙も書けますし、誰でも読めます。ひらがながしっかりと定着してから、横書きで書くカタカナの学習に入ります。

<認知・言葉・数等の学習解説を随時連載していきます>

感染拡大防止策を継続中です！

4月下旬以降、校内での目立った感染や拡大は生じておらず、教育活動を日々継続することができています。当然ながら、基礎疾患を有する学園生も多数在籍していますので、日々の感染予防対策をしっかりと継続しています。

都教育委員会からは「熱中症等を避ける為に、状況に応じてマスクを付けない対応もしてよい」との通知も届いています。本校では、学園生個々の実態に即して安全・安心を第一に適切に対応を行っていきます。その上で、学校近隣への学習などの再開も含め、段階的な緩和を一步一步進めています。今後の状況も踏まえながら、7月、9月と状況に応じたステップを刻んでいきますので御理解ください。

校長 田村康二訓

S 部門高等部第3 学年 「公民権教育の取り組み」

令和4年4月1日に一つの法律が大きく変わりました。1945年以来の改革です。また、既に変更されている選挙権の引き下げにより、高等部第3学年の学園生は3年生在学のうちに選挙権を行使できるようになります。高等部第3学年では、参議院議員選挙が7月22日に公示され、すでに選挙権を行使できる学園生がいることから選挙について学ぶ時間を設定しました。

最初に普通選挙の歴史について学びました。明治時代に初めて選挙権が許されたのは全国民の2%でした。それが1945年に20歳以上のすべての男女になり48%まで増えました。2016年の選挙権年齢引き下げの改革はそれ以来になります。また、誰に投票してもよいことや、誰に投票したか秘密にしてよいこと、SNSなどで候補者を推薦したり、意見を言ったりすることにも制限があることを学びました。

さて選挙の体験です。光明学園の特別学園生の「こうちゃん、めいちゃん」が選挙に候補者として参加してくれました。

こうちゃん「学校の本を充実させたい。」

めいちゃん「学校を花でいっぱいになりたい。」

どちらも魅力的な公約です。

高3の学園生にはそれぞれ投票券が届きます。



投票券を持った生徒は3階の投票所に向かいます。受付で名前を確認してもらい投票用紙をもらって、投票用紙に候補者の名前を記して、投票する流れを体験しました。実際の選挙前に良い学習体験を設定できたと思います。

(S部門高等部第3学年主任 主任教諭 水野吉丈)

B 部門高等部第2 学年 修学旅行事前に向けた校外学習

6月9日(木)に、2学期に実施が予定されている北陸方面への修学旅行に向けて、学校近隣の羽根木公園とうめとびあ内のふれあいカフェを目的地に、事前校外学習を実施しました。

羽根木公園では園内の散策と、B部門全体で行っているスポーツ教室で取り組んだモルックを楽しみました。新型コロナウイルス感染症拡大以降、久しぶりの校外でのレクリエーション活動を含んだ学習とあって、出席した学園生達は皆笑顔あふれていました。

園内散策では憩いの場所を見つけてリラックスしたり、健康増進器具を使用してトレーニングの練習をしたりして、自身の健康の保持・増進を意識しながら楽しむことができました。またモルックに取り組んだ際には、生徒同士点数を常に意識して、楽しい雰囲気の中にも真剣に試合に臨む様子がみられ、スポーツ教室での学習が

身についてことを実感する一幕でした。

ふれあいカフェでは、コロナ禍となって以降、本学園で初めてとなる校外での食事を摂りました。小遣いの範囲内で好きなメニューを注文しました。お財布と胃袋と相談しながら選んだメニューを、満面の笑みで、思い思いのペースで楽しんでいました。修学旅行ではこれらの経験を生かして、自分の体調や予算等と相談しながら現地での学習内容等を選択する場面があります。

無事に修学旅行に全員揃って行くことができた暁には、実りある修学旅行となるようにしっかりと準備していきます。

(B部門高等部 教諭 堀良輔)



寄宿舎 『代表会主催遊び』の様子

放課後の一時をみんなで楽しく過ごそうと、代表委員が中心となり『代表会主催遊び』を企画しました。

【 第1弾：体育館でスポーツ 】

6月8日（水）は、学校の体育館を使用して、バレーボールとバドミントンを行いました。準備運動をリードしたのは、B部門の高等部3年生。小学部生の元気の良い掛け声も場を盛り上げました。ネットやボールの準備も声を掛け合いながら行い、先輩が初めて参加する後輩をフォローする姿が見られました。バドミントンでは、



ダブルスで試合形式のゲームを行い、白熱した戦いが繰り広げられました。応援にも力が入り、「惜しいよ」「ナイスファイト」など、にぎやかな声援が響いていました。

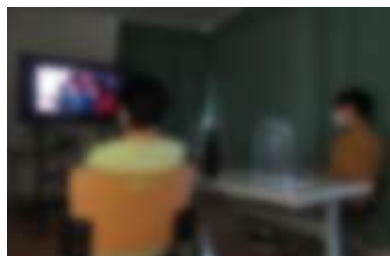
広い体育館で、思い切り身体を動かし、気持ちも広々開放的になった一時でした。

【 第2弾：映画鑑賞会 】

6月14日（火）は、映画鑑賞会を行いました。四会場に分かれ、各々が観たい映画を楽しみました。

今回選ばれたのは、「名探偵コナン〜ゼロの執行人」「新解釈・三国志」「リング」「容疑者Xの献身」でした。

笑いの絶えない会場、悲鳴のあがる会場…と、映画によって楽しみ方も様々。鑑賞後に感想を語り合う姿が印象的でした。 （寄宿舎指導員 大内悦子）



『レガシーの花（アサガオ）』栽培

昨年度、オリンピックのホッケー会場（大井ホッケー競技場）で選手・役員・運営スタッフの通り道を飾るために全校で栽培したアサガオが、展示を終えて学校に戻ってきました。戻ってきた後も育てて、たくさんの種子を取りました。

今年度はその種子を蒔き、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、オリンピック会場を飾ったアサガオを全校学園生が分担して育てています。

今回の光明の学びではS部門中学部での取り組みの様子を御紹介します。西棟の中庭や2階のベランダ、北棟の空いたスペースなどで、昨年度使った栽培セットの鉢を使って育てています。



生活単元学習の授業などに、生長具合の観察や水やりを行っています。



<スイッチ教材を活用してポンプにつながっています>

この全校で育てているレガシーの花（アサガオ）は今後、小田急線梅ヶ丘駅の御理解を得て、構内に鉢を並べて、地域の住民の皆様や通勤・通学で梅ヶ丘駅を訪れる方たちに鑑賞していただきます。

梅ヶ丘駅で展示された後の水やりや鉢の交換なども作業学習の授業などで取り組んでいきます。レガシーの花が光明学園と地域をつなぐことを期待しています。

（S部門中学部 主幹教諭 高澤昇太郎）

都立光明学園 令和4年度7月 行事予定表【保護者配布版】

令和4年6月24日版

日	曜	全校行事 部門合同行事	学部行事	保健行事(肢・病併記)	PTA百事	西棟バスターミナル 停車利用	下校時間	
1	金	(全校)安全指導日	(S中E)(S高F)期末考査終 (B高)期末考査終(S)自活訪問(AM)	(S中高)整形外科相談 指導医検診(伊東D)			(小) (中・高)	14:10 15:50
2	土							
3	日							
4	月						(小1~3) (小4~6・中・高)	14:10 15:50
5	火	第1回学校公開	(B)高オープンスクール				(小1) (小2~6・中・高)	14:10 15:50
6	水		(S)摂食相談				(小) (中・高)	14:10 15:50
7	木	(S中DE)(S高EF)(B)写真教室	(S)自活訪問(AM)	健康相談・B中3/S中3宿泊前検診(橋本D)			全校	15:50
8	金	(中12高1)宿泊防災説明会(オンライン)		(S小)整形外科相談			(小) (中・高)	14:10 15:50
9	土							
10	日							
11	月	(舎)1学期行事	(S)中3保護者高等部授業見学・事前相談				(小1~3) (小4~6・中・高)	14:10 15:50
12	火	(S小)全校保護者会	(B)高オープンスクール (S)摂食相談	指導医検診(井手D)			(小1) (小2~6・中・高)	14:10 15:50
13	水	(S中高)全校保護者会					(小) (中・高)	14:10 15:50
14	木			希望者体重測定			全校	15:50
15	金	(B)全校保護者会 (全校)避難訓練 標準服アフターサービス		希望者体重測定			(小) (中・高)	14:10 15:50
16	土							
17	日							
18	月	海の日						
19	火		(B)転学相談日				(小1) (小2~6・中・高)	14:10 15:50
20	水	(全校)終業式、(舎)閉舎 (全校)給食終 (全校)14:10下校					全校	14:10
21	木	夏季休業日始						
22	金	(訪問)訪問保護者会						
23	土							
24	日							
25	月	光明キッズ①						
26	火							
27	水							
28	木							
29	金	(舎)夏の行事						
30	土							
31	日							

7月(1学期中)は西棟バスターミナル利用制限がある日はありません

西棟バスターミナル停車可能時間 9:05~13:30まで(送迎時15分間以内)